

掛川地区更生保護女性会便り

平成24年
第83号

更女のみなさんの暖かい心はきっと伝わる!!

会長 富田 とみ子

10月3日に「県更女連盟50周年記念大会」が開催されます。

半世紀にわたり生々と活動して参りました。みなさんと一緒に祝福する日を迎える事は、本当に尊く嬉しく存じます。これも偏に多くの先輩方のご尽力と、今活動して下さる会員1人ひとりのお陰と心より感謝申し上げます。

現在、私達が暮らす社会において「経済・健康・福祉・道徳・その他」と多くの不安を抱えています。その中の1つ「いじめ」について考えたいと思います。

私事で恐縮ですが、小学校入学直後に6年生の女子5～6人からいじめを受けました。その事を先生にも、家族にも言えず特に父は幼くして母を亡くした私には優しくなかった反面、躰に関してはとても厳格な人でしたので子供心に「何にも言ってはいけない」と思っていましたから。しかし大人になって冷静に思うと「どうして私がいじめられたのか」と納得いかず、逆に彼女達はつらい思いをさせた事を覚えているか、今どんな大人になっているか?と思うばかりです。

ある新聞紙上に「いじめが原因で息子を亡くした(自殺)父親」が「何にも言わずに逝ってしまった我子の気持を誰か教えてほしい」という思いを込めてメッセージを発表したら多くの言葉が返

ってきて、その中に被害を訴えられず笑うしかない苦悩を先生も気付いて!!と教師に声なき声で訴えたこと。又父親も「いじめうんぬん以前に人間として正しくない行為に対して、きつく叱って気付かせなければいけない」と教師と加害者の親に対して無言の要求をしたとの事です。見て見ぬふりをする人も加害者の1人です。私達も自分の事として受けとめて真剣に考えていかねば……と思います。それでも自殺した子は還ってきません。

又、いじめられた娘さんの母親から「心の傷は例えようもなく大きいと思うが、“絶対いじめをしない人”にしてくれた事に感謝します」と。こんな心持の母娘がいる事を忘れてはいけないと思います。せめて大切に見守っていく事こそ私達の使命であると思います。

平成24年度の「視察研修」はデンマーク牧場「まきばの家」を予定しています。1番大好きな親元を離れ、施設の中で生活する少年、少女達に思いやりの心で見つめ、応援する。そしてあなた達の近くに私達がいつもいるから安心してね……って伝えたい。会員のみなさん、この機会に、この子たちの為に暖かい心をささげて下されば幸いです。

平成17年度より「少年の家全面改築事業募金」に対して「更女のお茶購入」「1円募金」「バザー売上金寄附」等、ご協力いただき、お陰様で平成25年に完成予定となります。更に「少年の家夕食づくり」に真心を差し上げて下さったり、日頃大変喜ばれ感謝されて居ります。これからも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

南郷地区福祉協議会・児童福祉部による
小学生広場に参加して(8/20～8/22)

掛川支部 大谷 よし

8月11日(土)19:00～南郷学習センターで恒例の小学生広場についての打ち合わせ会がありました。その日は丁度袋井の花火大会の日でしたので後髪を引かれる思いで、いつもの様に専属運転手?の車で時間すれすれに間に合いました。

メンバーは元教育関係者が多数でしたが親しい友達が「孫が2人出席するのでどんな事をするのか見たいと思い出席する」と言い、私は現代の子供達に接してみたいと思い興味を持っていましたのでお手伝いを呼びかけられた時に、すぐにお引き受けをしましたが少し心配でもありました。

1年生から5年生まで各班1人1人で班ごと5名でしたし、お手伝いさんも打ち合わせの時に同席したHさんだったので私は安心出来ました。

子供さん達も真面目に勉強したり水鉄砲を作るのに苦心したり、工夫したり指導者に手伝ってもらったりで出来上がって水が勢いよく出た時はみんな本当に嬉しそうでした。私は短い時間しかお手伝い出来ませんでした。出席した子供達はみんな素直で明るい子供達でした。今問題になっている「いじめ」に合わない事を念じました。

お世話をして下さった皆さんに心より改めて感謝が湧きました。

「千浜子育て支援センターの夏まつり」のお手伝い

8月3日 大坂地区会員

当日は親子で20組位の参加でした。

10時に総会を始め、更生保護のお手伝いの紹介をして下さり「忍たま音頭」の盆踊りでスタートです。

模擬店(おたのしみセット、ポップコーン、ジュース、だがし、お面)では、子供さんがチケットと引き替えにジュースお菓子、いろいろを1人1つずつ頂いてみんな幸せそうで私達もうれしく楽しませて頂きました。

子供さん達が元気で良い子に育ててほしいと願わずにはいられませんでした。又こういう支援センターがある事をご存じない方もいると思います。皆さんに知って頂き、親子の輪を広げてほしいと思います。



遊びコーナー

(魚つり、ワニワニパニック、金魚すくい、ヨーヨーつり、輪なげ)

ワニワニパニック



輪なげ



子供さんのいきいきとした目、横から心配そうに見守るお母さん、とてもとても楽しそうでした。

鳥井鈴江さん、山崎朝子さん、五嶋ひさゑさん

理事会を二の丸茶室で

掛川支部 永田 謡子

通常更女の理事会は掛川本所、大東支所、大須賀支所の会議室をお借りしていますが、8月は掛川城公園内にある二の丸茶室で行いました。

8月の暑さきびしい中ではありましたが、程よく冷房のきいたお茶室でのひといきは堅苦しさもなく、理事の方々の顔もいつになく緊張感のとれたリラックスムードだったように見受けられました。議事もスムーズに進んだように思います。

二の丸茶室は平成14年3月に竣工され多くの国内外からのお客様のおもてなしに貢献してきました。

この日は更女の会員でもある鈴木敏子さん達のお当番の日で、お抹茶とお煎茶と二服いただきその後茶室の中もご案内していただき知識を深めることが出来ました。

凜とそびえる掛川城をのぞみながらの一服にこれからの更女の活動を見守ってと願いながら閉会となりました。



新会員研修に参加させて頂いて

掛川支部 山崎 富美子

堀会長、井坂所長のお話を聞かせて頂き、更生保護女性会の役割というものが理解出来、ビデオ鑑賞により活動の内容がつかめた有意義な一日でした。また、行き帰りの車中初めてお会いする会員さん達との会話も楽しく学ばせて頂くことがたくさんありました。

江戸時代の刑罰や会原明善翁が劣悪な環境を改善されたり、出獄人会社を設立したこと、明治16年には大坂の江上女史が感化院を設立された等の歴史を知り感銘を受けました。気高く優しく、強い心を持って使命感に燃えての活動であったのだろうと想像するばかりです。又、その活動を今につなげて来られた諸先輩に敬意を表します。

人と人とのつながりを感じ、少しでも誰かのお役に立ちたいと願っている今、この活動に参加させて頂けることに感謝します。少しずつでも自分を高め、少しずつでも社会が良くなっていったらという夢が膨らんでいきます。



更生保護女性の会 H24年度新会員研修会に参加して

掛川支部 戸塚 久美子

去る7月26日に湖西市にて開催されました新会員研修会に、午前中のみ参加させて頂きました。会員親睦を兼ねてのことでしょうか、天浜線掛川駅の基点から終点新所原まで行き湖西市西部公民館へ。

所要時間2時間の道中は、この会に参加した訳や、疑問点はどういう事か等の話し合いで電車内があたかも教室のようでした。

私が学んだことを3つ報告致します。

1つはこの組織の位置づけです。説明では、法務大臣—法務省保護局—地方更生保護委員会—保護観察所—保護司(全国5万2500人)・協力雇用主(9000人)・更生保護施設(104か所)・BBS会(500人)・更生保護女性の会(18万人)という位置づけで、保護観察所を支援する団体である事が確認出来ました。

2つ目は、静岡県は全国に先駆けて金原明善翁が1888年(明治21年)静岡県勸善会を設立し、心ならずも罪を犯してしまった青少年を更生させる施設を創設されていきました。初めて伺いましたので治山治水・利水の神様が更生保護の分野でも社会貢献されていたことに改めて敬服致しました。

3つ目はこれからの活動についてです。間接的に支援してきた更生保護女性会が直接的な支援場面も増えてきているというお話がありました。更に予防的更生保護活動の展開も必要だと考えます。青少年の健全な育ちは誰もが望むところです。多くの皆さんの力で、犯罪を未然に防ぐ地域活動等、多様な活動の展開も視野に入れて、私達の時代の更生保護活動を創造していきたいものと感じました。

新会員研修に参加して

掛川支部 八重樫 隆子

私は50歳を目前にして、少しは人のためになることをしたいと思い、地域で女性部の役員をかってでたり、ボランティアや市民活動にも参加しました。そういった活動で知り合った方から更生保護女性会へのお誘いも受けておりました。しかし、私が関わっております他の活動に比べると、重い感じがしまして、なかなか参加に踏み切れませんでした。保護司の方のイメージもあり、大変な活動なのではないか、平凡極まりない人生を歩んできた自分と違い、尋常でない背景を持たれている方々が多いのではないか、そのような人に自分等が接していいものなのか？という不安と疑念があったと思います。

7月26日の研修はやや私の不安を和らげてくれるものでした。私のような不安を口にする人もおいでになりましたし、無理せず出来ることから、参加させて頂こうと思えるようになりました。なにより、井坂所長のお話を聞き、お役に立ちたいと考えられるようになりました。まずは、廻りの先輩方から勉強させて頂き、少しずつ、お手伝いしたいと思っております。更生保護女性連盟の崇高な精神とそれを支えて来られた皆様に尊敬の念を禁じ得ません。

新会員研修会に参加して

大東支部 小関 和子

久しぶりに天浜線にて、掛川駅発、終点新所原駅への往復。往きはどのような会であろうかと思い長く、帰りは澆らつと様々な話に花が咲き短く、勉強になった一日でした。

会長さんは細かい所まで気を配って下さり、皆さんとも心安く参加できてお世話になりました。

参加新会員は99名、連盟より15名の出席にて進められました。堀靖代県連盟会長さんからは、更生保護女性会とは。静岡県保護観察所の井坂所長さんからは、更生保護制度について講話を受けました。活動ビデオ「ひろげる」を鑑賞して組織を見直しました。

更生とは、心ならずも過ちに陥った人の、心根が根本的に変わること。居場所がなくならないようにすること。

更生保護とは、人はみな生かされて生きていく、やり直せる社会であり、再出発を見守り支える社会、差別と偏見のない社会を目ざしていく、地域社会の中で健全な人として立ち直るように指導・援助すること。より安全安心な社会を作り温かく見守っていくことである。更生保護女性会は50年の歴史をもつことを知りました。

保護司とは違いボランティア団体で、直接ふれつつまごころで行う活動であるということを再認識しました。

犯罪者、非行少年の立ち直りに関わる機関として矯正施設と更生施設があり矯正施設として静岡刑務所(強制的労働をする。)駿府学園(少年院)は1ヶ月に1回意見発表会・弁論大会をする。お茶つき、盆踊り、体育祭、学園祭、卒業式等、大人を信用していないので、このことを少しでも無くするために訓練をしているといひます。

更生施設として、鑑別所、勸善会(日本で最古で静岡市に明治21

年に設立)、少年の家(食事作りをして温かなごはんをお茶碗で食べる)があります。慰問した人と接する機会を多くする。ということ。

少年の家は、静岡市葵区に昭和28年に設立し平成25年に全面改築予定とのこと。

更生保護女性会員は全国では18万人、静岡県の会員は三千六百余名、お茶の販売(更女の茶)をして基金にと支援して戴き感謝していますとのこと。

生い立ちをたどっていくと、人間扱いされない生活で気の毒な環境の中、非行少女の保護から愛光女子学園、感化院開設に至っていったと言われました。

このように施設設立の歴史等、連盟の活動の内容・様子を知り、セカンドチャンスの大切さ、受けることも与えることも重要と学びました。特に温かなごはんをお茶碗で食べるように、と言われた時は胸に込み上げてきまして現在の幸せを感じました。研修会に参加して中途半端に思っていた考えを改め、理解を深めることが出来ました。ありがとうございました。



静岡県更生保護女性連盟 新会員研修に参加して

大東支部 鷺山 千恵子

昨年度は、他の会合と重なってしまい、本年度、新会員研修会に参加させていただきました。

場所は、湖西市西部公民館で開催されました。掛川駅から新所原まで、往復天竜浜名湖鉄道に乗車しました。久しぶりの天浜線です。なかなか天浜線を利用する機会は、ありません。こういう機会をいただき、のんびり沿線の景色を楽しむことができました。ここは、来たことがある、ここは、車で通ったことがある道だ、浜松大学は、この辺にあったのか、浜名湖の眺めはいいなあ、そんな思いをもちながら、会場へと向かいました。

静岡県更生保護女性連盟、堀靖代会長の「更生保護女性会とは」という講話や、静岡保護観察所、井坂巧所長の「更生保護制度について」という講話をお聴きする中で、「更生保護女性会」についての理解をより深めることができました。

更生保護女性会活動のキーワードは、「女性」「地域性」「ボランティア」「更生保護」であること、女性のもつ温かさや細やかさを生かした活動であること、「更生保護」とは、犯罪や非行をした人が、再び同じような過ちに陥ることがなく、地域社会の中で、健全な社会人として立ち直るように指導・援助することにより、安心・安全な社会を作るものであること等、よく分かりました。

さらに、静岡県更生保護女性連盟活動ビデオ「ひろげる」を見せていただき、各地域ごとに様々な活動をされていることが分かりました。いろいろな活動ができるということも分かりました。

グループ討議で最初は緊張した雰囲気でしたが、研修会の感想や普段感じていることを和やかに話し合うことができました。ある施設の掃除ばかりやっているという話に、助言者から「そういう活動もあるけれどそればかりでなくその他いろいろな活動があ

るので、進んで参加して学んでください」というお話がありました。

昨年度は、総会を始め、千浜子育て支援センターでの「お母さんの講座」のための託児や、静岡刑務所矯正展、映画「エクレールお菓子放浪記」観賞会、人権擁護講演会に参加させていただきました。これからも、参加できるボランティア活動に進んで参加しようという思いを強く持った研修会でした。

大須賀支部 野中 信子

メダルを獲得された選手が「大勢の人達に支えられて手にできました」と感謝を述べられましたが、このメダル獲得の為には人一倍の努力と時間と強い精神力でやっとなれたのだと思いますが、皆さんの支えがあってこそ手にできたと心からそう思われたのだと思います。

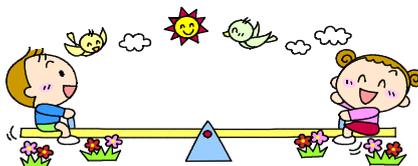
人が生きる事も同じだと思います。

私も人々にお世話になりながらこの歳まで過ごしてきました。入会のお話を頂いた時には、私でもお役に立てる事があるのならとお受けしました。お茶を買ったりほんのちっぽけな事ですが少しずつ参加していきたいと思っています。

会 員 募 集

掛川地区更生保護女性会では一緒に更生保護活動をしていただける新規会員さんを募集しています。知り合いの方で、興味をもってくれそうな方がいましたら、声を掛けてみてください。

◆次号の編集担当は大東です



平成24年9月～12月までの実施予定

月 日		
9月2日	金	大須賀市民交流センターフェスタ
